

第 342 号

宮城県 商工連合会報

発行所 仙台市青葉区上杉一丁目14番2号
宮城県商工振興センター内
宮城県商工会連合会
TEL. 022(225)8751
FAX. 022(265)8009
URL. <https://www.miyagi-fsci.or.jp/>
発行責任者 会長 佐藤 浩
印刷所 株式会社セイトウ社



綴じ込んで保管しましょう

元気な事業所紹介 Protect you株式会社(東松島市商工会)

令和2年7月に前職での設計技術者としての経験を活かし、介護・福祉に関する機器を開発する事業を創業。自身が両親の介護に携わり不便な思いをした経験から、介護する側・される側が共に気持ちよくなるよう思いを込めた機器を開発している。
新たに開発した車椅子アタッチメント「らくP」は、車椅子にセットするだけで押し引きがしやすくなる商品で利用者から好評を得ている。(詳細は5ページ)

C O N T E N T S

●経営支援事例発表会 …………… (2)	●よろず支援拠点からのお知らせ …………… (4)
●地区別会長会議 …………… (2)	●元気な事業所紹介 …………… (5)
●SNSを活用した販路開拓事例紹介 …………… (3)	●協会けんぽ宮城支部からのお知らせ …………… (6)
●製造業に係る経営講習会 …………… (3)	●中小企業大学校仙台校からのお知らせ …………… (7)
●県内バイヤー等との個別商談会 …………… (4)	●青年部・女性部コーナー …………… (8)

課題解決に導いた支援手法等を 経営指導員相互で共有

―経営支援事例発表会―

経営支援事例発表会は、去る一月二十八日と二月二日・三日の三日間に亘り「夢メツセみやぎ」を会場に開催された。当日は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、参加者を発表する経営指導員と審査員のみ限定して行なわれ、発表された支援事例は記録ビデオにより県下全経営指導員にて共有している。

この発表会は、経営指導員等がチームで研究・検討を重ねた支援事例の発表を通じて、経営支援能力の向上及び支援ノウハウの共有を目的に毎年度開催し、今年で十九回目を数える。



最優秀事例を発表した羽賀主任主査

各開催日とも、新型コロナウイルス感染拡大の影響による厳しい経営環境の対応策として、販路開拓や事業承継に取り組んだ事例等、会員企業が抱える経営課題に対して、商工会が提案した解決策及び伴走型支援を通じて得られた支援成果等について、担当した経営指導員がグラフや画像を交えて発表した。

今回、最優秀事例に選ばれた巨理山元商工会の発表は、事業承継を機に新分野へ参入する企業に対し、顧客ニーズや需要の高まりに応える新製品の開発にあたって生じた課題を、事業計画の策定支援を通じて事業承継補助金や小規模事業者持続化補助金の活用を通じて、自社の強みである経営資源を最大限に活かし、事業の再構築に導いた事例であり、今後の企業支援の模範となる内容であった。

審査を務めた担当講師からは、相談者と信頼関係を構築し対話することが必要であり、課題の抽出から解決に向けた取り組みを計画・実行することが重要である等、今後



感染拡大により規模を縮小して開催

の企業支援に向けて厳しくも力強いアドバイスを頂戴した。

尚、三日間の支援事例の中から最優秀事例・優秀事例を下記の通り選考した。

【最優秀賞】
○巨理山元商工会
(発表者 羽賀 晶子 主任主査)

支援テーマ 「創業百年を目指して」地域に根ざした豆腐製造業の事業承継を機とした新たな取り組み

【優秀賞】
○遠田商工会
(発表者 馬場 章禎 主査)

支援テーマ チーム支援によるビジネスマッチング(創業からの伴走型経営支援)

○栗駒鶯沢商工会
(発表者 菅原 慶亮 主任主査)

支援テーマ コロナ禍における人気店飲食店の事業承継支援

商工会における課題等について意見交換

―地区別商工会長会議―

会議では、最初に事務局より本会組織運営活性化委員会

で実施した「ブロック体制及び県連合会役員選任等に関するアンケート調査結果」について報告するとともに、職員の数値管理計画の中間見直しの内容も含めた「第二期商工会等職員定数管理計画(案)」[令和四年度事業計画重点項目]について説明し、審議を



活発な意見交換が行われた

出席した商工会長からは、ブロック体制等のアンケート結果を踏まえて、改めてアンケート実施を求める意見や、職員削減に伴う商工会のサービス低下にならない体制づくりへの要望、事務センターみやぎの本格稼働に向けての質問等があったが、議題は全て了承された。

他にも、商工会館の老朽化に伴う支援要望や自己財源の確保策、商工会合併後の状況を検証する必要性や職員採用に対する要望などについて活発な意見が出された。

年二回開催する商工会長会議は、これまで県下三十三の商工会長が一堂に会して開催されてきたが、今回の地区別商工会長会議では、「各商工会が抱える課題や他の商工会の様子がわかり大変参考になった」等の意見も多く聞かれ、情報交換の場としても有意義な会議となった。



【経営課題と始めたきっかけ】
 自社のホームページがなかったため、近場のお客様以外に広く周知するキツカケがありませんでした。また、洋菓子のラインナップを大幅に変更し、新規のお客様を取り込みたかったこともあり、SNSの活用を始めました。

【具体的な取り組み内容】
 以前は、Facebookを利用していましたが、定番商品の紹介や新商品及び季節商品等について、特に若い世代に対する情報発信を検討していたことから、写真等の投稿により認知度を高めようとInstagramを活用した取り組みを行っています。

SNSを活用した販路開拓事例紹介

Instagramを活用して

商品紹介

有限会社 菓子匠喜多屋(大河原町)



【SNS活用による成果】
 以前から運用していたFacebookで、五倍以上の「いいね」をいただいています。
 また、仙台、全国、さらには海外からの反応も多くあります。

Instagramを見てお店に来ていただく方や、若いお客様も増加し活用の効果を感じております。

【企業概要】

事業者名：(有)菓子匠 喜多屋
 代表者：代表取締役 中村 弘
 所在地：柴田郡大河原町大谷字末広 55
 TEL：0224-52-1577

- Facebook
<https://ja-jp.facebook.com/kitayasweets/>
- Instagram
<https://www.instagram.com/kitayasweets/>

指導員の声

昔ながらの伝統を守る和菓子から、斬新な洋菓子まで時代のニーズに合わせた菓子作りを心掛け提供している創業89年の老舗です。以前から、持続化補助金を活用し新規客獲得のため新商品の開発を重ね、FacebookでPRするなど努力をしてきたものの、なかなか遠方の顧客を取り込むことが出来ないうことで、比較的気軽に閲覧でき、季節感や華やかさを演出できるInstagramの導入を提案しました。Facebookと比べ、5倍以上の「いいね」が付くなど好評で、一緒に策定した事業計画の売上目標に順調に近づいています。

大河原町商工会 藤井 明華



リモートでの開催となった講習会

去る二月九日に開催した「製造業に係る経営講習会」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンラインでの開催となった。

第一部では、本会が昨年八月から九月にかけて県内食品製造業者約五百社を対象に実施した「食品製造業経営実態調査」について、調査結果を取り纏めた中小企業診断士小野寺哲氏より、結果から見えた県内食品製造業の経営環境や経営実態等について解説を頂いた。終息が見えない新型コロナウイルス感染症の影響

「コロナ禍における
 販路開拓術のいろは」を学ぶ
 — 製造業に係る経営講習会 —

響により外部環境の変化が著しい中で、経営者には新たな取り組みへの意思決定を行うリーダーシップが重要となり、また、支援機関は経営者を支えるための情報提供や経営課題を明確にするコミュニケーションが必要であるとの報告がなされた。

続く第二部では、(株)エスト・コミュニケーションズ代表取締役 弓削徹氏より「ウィズコロナ・アフターコロナにおける販路開拓術のいろは」と題し講演が行われた。コロナ禍において中小企業がより効果的に販路の開拓を行うためには、ニッチなターゲットに絞り込むことで大企業との競合を避けることや、インターネットやSNSを活用し商品の「ウリ」を効果的にPRすること、また、消費者を惹きつける商品のネーミングの付け方など、様々な営業手法についての紹介があり、受講者は、画面越しでも講師の言葉に熱心に耳を傾け、自身の経営に思いを馳せながら聴講している様子であった。



リモートでの商談会の様子

販路拡大に向けて 自社商品を強力にアピール！ —オンラインによる県内バイヤー等との個別商談会—

東日本大震災等により失った販路の回復と新型コロナウイルス感染症の影響を受け売上が減少している小規模事業者の新たな販路開拓を支援するため、県内バイヤー等との個別商談会を去る一月十八日・十九日の二日間にわたり開催し、九社の県内食品等製造事業者が参加した。

今回の商談会は、新型コロナウイルス感染症対策の試みとして、オンラインを活用した非対面型で行われ、バイヤーには、県内のショッピングモール内でお土産品等の販売を行っている業者と、医療・福祉施設向け給食を製造する業者の二社を招聘した。

当日は、本商談会に先立ち開催した「商談力・販売力向上セミナー」で講師を務めた、M's代表 遠藤光好氏がコーデイナーとなり進められ、参加した事業者は自社商品の特徴やこだわりをアピールするなど、熱心な商談が行われた。また、商談会には所属商工会の経営指導員も同席し、事業者への支援を行った。

参加バイヤーからは、取引成立に向けた前向きな話しをいただいたほか、商品に対する評価やアドバイスを直接聞くことができ、今後の取引拡大に向けて大変有意義な商談会となった。



中小企業庁委託事業

「想いをカタチにする経営相談所」
宮城県よろず支援拠点の活用を！

宮城県よろず支援拠点チーフコーデイナーの佐藤創(さとう そう)です。

みなさまは今年度も、コロナ禍の中で事業をどう運営するか考え続ける年度であったかと思えます。そのような中、当拠点には売上回復を図るため「コロナ禍であることを前提とした事業へ柔軟に適応」していく事業者さまが多くご相談にいらっしやいました。本日はコロナ禍に柔軟に適応した事業者さまの事例をいくつかご紹介いたします。

【靴の中敷き小売店】

足から体の歪みをサポートする、健康用の靴の中敷き販売店のA社は商店街に立地。コロナ禍で通行客が減少し、店舗に来店するお客様が激減しました。そこでネットを活用した集客に力を入れるべく当拠点に相談。当拠点では商品力が高く、アイテム数が少ないことから、ネット上でしっかり営業ができるWebページである、ランディングページを提案。当店の強みをヒア

「サテライトオフィス上杉」
仙台市青葉区上杉二丁目16-8
プロスペール本田3階
☎ 022-393-8044

リングで整理しながらページに落とし込んでいきました。その後GoogleマイビジネスとSNSも活用して集客を実施。今までWebページからの来店予約はほぼゼロでしたが、今ではアクセスは三倍、毎月平均五件の来店予約を獲得するまでに。コロナ禍に適応した集客手段を得ることが出来ました。



【陶器小売店】

伊万里・有田・波佐見など有名窯元から直仕入れをし、二店舗で販売する陶器の小売店。当店も商店街の通行客が減少して来店客が減少するなか、当拠点の相談にお越し頂きました。お客様が来店に至るための動機付けをするにはSNSでの発信が有効と考えインス



(※実際のSNS投稿)

当拠点は、「想いをカタチにする経営相談所」です。経営のお悩み解決します。あなたのチャレンジ、本気でカタチにしませんか？

タグラム活用を提案。ただしオーナーはスマホに変えたばかりで高齢のご夫婦。どんな投稿や集客をすればよいかわかりません。当拠点では器の利用シーンが分かるよう、季節のお料理と組み合わせた写真を撮れるよう継続的にレクチャを実施。半年以上継続することで投稿写真が見違えるように改善。来店客数も増加し相談前と比較して一二〇%の売上回復につながりました。

元気な事業所紹介

車椅子の介護負担の軽減、防災対策も兼ね備えた

「車椅子用アタッチメント『らくP』の開発」

Protect you株式会社 代表取締役社長 齋藤 洋隆 氏

住所：東松島市赤井字川前4-96-1

電話番号：090-2880-4208 FAX：0225-82-6168 メール：h.saitou@protectyou.co.jp

H P：https://protectyou.co.jp/ YouTubeで「らくP」で検索すると詳細説明があります。

【事業を始めたきっかけ】

父と母が同時に大病を患ってしまい、何をどうしていいかも分からず、両親の介護に向き合うこととなりました。

介護という新しい分野に携わるなか、介護する側・される側が気持ちよく、安全に行えていないことが数多くあることに気付き、介護する側・される側すべての人々に安心してを提供したいという思いから、介護・福祉に関する機器を開発製造する事業を令和二年に創業致しました。

【らくP』の開発】

母を車椅子に乗せて押しているとき、母からいつも「車椅子を押すのが下手くそだ」と言われ、私は「車椅子ってなんでこんなに押し引きしづらいのだろう」と感じておりました。

その思いと合わせて、東日本大震災の際に車椅子での避難がとて大変だったことを思い出し、誰でも楽に押し引きすることが出来、乗っている人も心地よく、車椅子をスムーズに運べるようなユニバーサルデザインのアタッチメントを作りたいと考えました。

(公財) みやぎ産業振興機



様々な持ち方ができる形状

構「みやぎ中小企業チャレンジ応援基金」助成制度に応募したところ無事採択され、大学教授や協力企業等沢山の人の支援を受け、福祉施設での検証を踏まえて令和四年一月に「らくP」が完成しました。

「らくP」は意匠登録も済んでおり、その特徴は①介護者が楽な姿勢で握める形状、②様々な持ち方ができる形状、③危険時にとっさに操作できる形状、④介護者の腰痛の負担軽減になる、⑤階段の昇り降りが介護者一人でも可能、というところです。取付けも簡単に利用者に好評をいただいております。

【商工会との関わり】

令和二年度商工会主催の創業セミナーを受講し、東松島市創業補助金の採択を受けたほか、ビジネスマッチ東北への出展や東松島市産業祭での

商工業品展示会への出展など販路開拓の支援を受けております。

また、商工会主催の令和三年度東松島経営大賞では、「らくP」開発に伴うビジネスプランが、実現性や消費者ニーズを捉えた商品開発である等が評価され、金賞を受賞いたしました。

【今後の展望】

高齢者の介護を高齢者が行う高齢者介護がますます増加し、いつどこで災害が起こってもおかしくない時代、高齢者でも車いすを楽に押し引きできるアタッチメント「らくP」が非常に役に立つと思います。介護施設や医療施設等を中心に、全国各地の困っている人へ「らくP」を届けるため、今後も販路拡大に取り組んでいきます。



東松島経営大賞を受賞

— § 宮城の中小企業を応援します § —

総合火災共済

火災・落雷・風災・雪災・雪災事故などのほか、洪水・高潮・土砂崩れ事故も補償範囲

地震危険補償特約

地震・津波・噴火 による損害に備え!! 住宅に限らず、店舗・事務所・工場など新耐震基準である昭和56年6月以降の「建物」が対象 ※火災共済の特約

休業対応応援共済

火災・台風などによる事故はもちろん、地震・津波・噴火 などにより建物が損害を受け休業した場合の休業補償

自動車共済

地震危険補償共済

医療・傷害共済

その他共済

先ずはお見積りを!!

お問い合わせ・お申込みは お近くの商工会へ

宮城県火災共済協同組合

TEL. (022) 263-1265 FAX (022) 267-2878

令和4年3月分(4月納付分)から協会けんぽ宮城支部の健康保険料率、介護保険料率(全国一律)が変更となります

令和4年2月分(3月納付分)まで
10.01%

健康保険料率

+0.17%引き上げ

令和4年3月分(4月納付分)から
10.18%

令和4年2月分(3月納付分)まで
1.80%

介護保険料率※

-0.16%引き下げ

令和4年3月分(4月納付分)から
1.64%

※40歳から64歳までの方(介護保険第2号被保険者)には、健康保険料率に全国一律の介護保険料率が加わります。65歳以上の方は居住する各自治体において算定されます。

大変厳しい経済状況の中ではありますが、皆さまのご理解をお願い申し上げます。

お問い合わせ先 協会けんぽ宮城支部 (☎022-714-6851)

事業復活支援金のご案内

2022年3月までの事業の見通しを立てられるようコロナ禍で大きな影響を受ける事業者には地域・業種問わず、固定費負担の支援額を一括給付

- 対象者 新型コロナの影響で2021年11月～2022年3月のいずれかの月の売上高が、2018年11月～2021年3月までの間の任意の同じ月の売上高と比較して**50%以上または30%以上50%未満減少**した事業者
(中堅・中小・小規模事業者、フリーランスを含む個人事業主)

- 給付額 $(\text{基準期間}^{\ast 1} \text{の売上高}) - (\text{対象月}^{\ast 2} \text{の売上高}) \times 5$

※1 基準期間とは、「2018年11月～2019年3月」、「2019年11月～2020年3月」、「2020年11月～2021年3月」のいずれかの期間のうち、対象月を判断するため、売上高の比較に用いた月(基準月)を含む期間

※2 対象月とは、2021年11月～2022年3月のいずれかの月のうち、基準期間の同月と比較して売上が50%以上または30%以上50%未満減少した月で、申請に用いる月

- 給付上限額

売上高減少率	個人事業者	法人		
		年間売上高1億円以下※	年間売上高1億円超～5億円※	年間売上高5億円超※
▲50%以上	50万円	100万円	150万円	250万円
▲30%以上50%未満	30万円	60万円	90万円	150万円

※ 基準月(2018年11月～2021年3月の間で売上高の比較に用いた月)を含む事業年度の年間売上高

- 開始時期 1月31日から申請受付を開始
- 事業復活支援金事務局 URL: <https://jigyuu-fukkatsu.go.jp/>

この他にも様々な補助金等の支援策がありますので、詳細はお近くの商工会へお気軽にご相談ください。



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

新型コロナウイルス感染症
事業者サポート
公式LINEアカウント

LINE公式アカウント「経済産業省 新型コロナ事業者サポート」では、必要な情報をキーワード検索で簡単に調べることができます。

最新情報も随時配信しますので、ぜひご利用ください。



LINE 友だち追加

中小企業大学校仙台校 2022年度 上期 研修のご案内

人材は、磨いて初めて「人財」になります。成長が期待される時代。御社の発展のため、仙台校をご活用ください。

申込受付中

Table with columns: 研修分野, テーマ, コースNo., 内容. Rows include categories like 管理者養成, 階層別, 企業経営・経営戦略, 組織マネジメント, 人事・組織, 財務管理, ケ営業・マーケ, 生産管理.

注) 日程・講義内容等は都合により変更する場合がございます。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
中小企業大学校 仙台校



TEL:022-392-8811
FAX:022-392-8812

仙台校 検索





青年部
コーナー

「リーダーシップに
必要な資質」を学ぶ
— 商工会青年部員交流懇談会 —

商工会青年部員交流懇談会
が、去る二月九日、県下青年
部員四十四名参加のもと開催
された。

当初仙台市内を会場に開催
する予定であったが、新型コ
ロナウイルスの感染者数が急
増したことから、急遽オンラ
インによる開催に変更して行
われた。

講演では、講師に接客向
上委員会&Peace代表
キャリアコンサルタント石
坂秀己氏を迎え、「ディズニ
ー 組織を活性化するポジ

ティブリーダーシップ」と題
し、自身がディズニールラン
ドのアトラクション責任者とし
て勤務していた時のエピソード
を交え、接客する上で的心
構えやお客様に楽しんでいた
べくための接客・コミュニ
ケーションスキル等について
講話いただいた。

また、上司が部下に指導を
行う上での心構え、部下と円
滑なコミュニケーションをと
ることができるような受け答
え、反対に部下が委縮してし
まうような具体的な返答など

を詳しく説明いただき、組織
のリーダーシップに必要な資
質は、失敗から学びを得るこ
と、そして再チャレンジする
勇気を備えることであると学
ぶことができた。

予定していた意見交換会は
中止となったが、経営者とし
ての意識の高揚と資質向上に
繋がる意義ある講演会となっ
た。



オンラインにて参加する千葉会長

宮城県商工会議所青年
部連合会代表者との交
流研修会を開催

去る一月十九日、宮城県商
工振興センターを会場に宮城
県商工会青年部連合会代表者
と宮城県商工会議所青年部連
合会代表者との交流研修会が
新型コロナウイルス感染症の
影響から規模を縮小し、出席
者九名参加のもと開催され
た。

開会挨拶後の意見交換で
は、①今年度の活動紹介、②
両県青連で独自で行われてい
る事業について、③コロナ禍
で行った事業についての三つ
をテーマに、商工会及び会議
所の県連合会や所属単会での



女性部
コーナー

令和四年度開催県である
「みやぎ」の良さを全国にPR
— 商工会女性部全国大会 —



次回開催県PRをする正副会長

去る二月十五日、大分県別
府国際コンベンションセン
ターにて「ようこそおんせん
県おおいたへ」沸き出す女性
パワーで真心のおもてなし

「」のスローガンのもと、商
工会女性部全国大会inおおい
たが開催された。

大分大会は昨年度、新型コ
ロナの影響により一年延期さ
れ、今年度も十月から再度延
期となつての開催となつた

が、全国的な感染拡大の影響
から規模を縮小しての開催と
なり、本県からは県女性連正
副会長四名のみが現地参加、
二十五名の女性部長はリモ
トでの参加となった。

オープニングセレモニーに
続いて行われた表彰では、ま
ち（地域）づくり顕彰を受賞
した本県東松島市商工会女性
部が表彰された。

次に、全国六ブロックを勝
ち進んだ代表者による主張発
表が行われ、女性部活動と地
域振興・まちづくり「池田
町の未来を子ども達と一緒に
」と題し、女性部活動を通
じて地域の子ども達に商売を

体験させながら、未来を担う
子供たちの育成に取り組んで
いることを発表した近畿ブ
ロック代表 福井県池田町商
工会女性部 杉早苗さんが最
優秀賞に輝いた。

続いて、パラリンピアン
西麻耶氏より「あきらめない
心」と題して基調講演が行わ
れ、最後に次回開催県PRと
して本県女性連塩澤会長と副
会長三名が本年十月開催予定
の宮城大会への抱負と宮城の
魅力を、観光PR動画を映し
ながら全国に向けてアピール
し、多くの方々から宮城に來て
いただけるよう呼び掛け、全
国大会は盛会裏に終了した。



活発な意見交換が行われた

活動内容についてそれぞれ説
明した後、質疑応答が行われ
た。

両団体とも新型コロナウイルス
感染症の影響により、計
画通りの事業実施が難しいな
か、事業内容や開催方法につ
いて工夫・検討を重ね実施し
ており、今後、コロナ禍にお
いて地域社会の活性化のため
に青年部ができることを考え
るうえで、大変有意義な交流
研修会となった。



YEG代表者との集合写真